

生き物から工業用品まで～タオパオの魅力～

齋藤正幹

12月に入り、寒さが一層厳しさを増してきております。マイナス10度以下になる日が多く、大風と乾燥が厳しいです。ハンドクリームとリップクリームが手放せません。寒さが厳しいため、最近私はシベリア帽を購入しました。中国では国土が広いので、学校の近くに店がないことは珍しくありません。そのため、中国のアマゾンと呼ばれている「タオパオ」を愛用しています。売上規模も非常に大きく、毎年11月11日に設定されている「独身の日」には、2兆8000億円もの売り上げがあったと耳にしています。

タオパオでの購入方法についてですが、基本的にアマゾンと比較的変わりません。アマゾンと違う点についてあげるとするならば「1、出品者と直接チャットで連絡ができること」「2、生き物から工業用品まで購入できること」「3、外国の商品でも購入できること」「4、学校内で商品を受け取ることができること」の4点が挙げられます。

まず1点目についてですが、アマゾンとは違いアプリ上で直接出品者とチャットができるという点です。私も以前購入した商品が送られてこなかった際に直接出品者と連絡をしたことがあります。アプリ上で完結するため、いちいちメールを書く必要がなく非常に便利でした。また、電話で連絡するのではないため理解できない言葉が出てきたとしても辞書を引きながらやり取りできるため、中国語の学習に一役買っています。

タオパオで取り扱っている商品についてですが、アマゾンとは違い非常に幅が広く驚いています。例えば生きた鶏や卵、海産物からドローン、ガスマスクまで非常に多くの商品を取り扱っています。日本では法律の関係で取り扱いが規制されているものもありますが、中国では事情が違うようです。一時期世間をにぎわせたドローンも、高額ですが購入することができます。日本の物流サービスでは考えられないようなものが売買されていることを考えると、中国の物流サービスがどのようなモデルで動いているのか気になるところです。

3点目についてですが、中国以外の国のもの（例えば香水や日本のお菓子について）も購入することができます。価格は出品者によって分かれますが、日本のものが恋しくなった際に気軽に日本の味を手に入れられるため、重宝しています。最近では「ブラックサンダー」（チョコレート菓子）を購入しました。機会があれば副業として輸出する事業について調査してみたいと思います。

4点目に関してですが、配達されたものは学校内にある集荷場に届きます。注文した品が到着した場合アプリとSMSにメッセージが届き、指定された番号を窓口で言うと品物を出してくれます。この集荷場はEMSやSALなどの郵便物も取り扱っているようで、日本から送った荷物もここに届きました。

日本からでも使えるようなので、皆さんも使ってみてください。たくさん発見があると思います。



タオパオのホーム画面です。
下にスクロールすると、
お勧め商品が表示されます。



出品者とのチャット画面です。
最近購入した棚の業者が
一番下に表示されています。



タオパオでは鶏も購入できます。



日本食が恋しくなっても、
タオパオで購入することができます。